

初級文型Ⅰ・Ⅱ 文型抜出例

文型抜出しは、理論科目の『初級文型Ⅰ』と『初級文型Ⅱ』の提出課題です。実践Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・実践評価法の授業を履修後、文型抜出しⅠ・Ⅱを提出すると教育実習登録が可能になります。また、実践Ⅰの受講前までに文型抜出しⅠを実践Ⅱまでに文型抜出しⅡが完成していると、実践の授業がよりスムーズに受講が期待できます。また視聴後すぐにまとめていった方が忘れませんから、視聴後間を空けずに作成することを推奨致します。

課題：初級文型Ⅰに対する課題 『文型抜出しⅠ』

みんなの日本語第1課～第25課までを課別に『新出文型』、『代入例』、『新出語彙』、『メモ』の欄を用意しまとめなさい。

課題：初級文型Ⅱに対する課題 『文型抜出しⅡ』

みんなの日本語第26課～第50課までを課別に『新出文型』、『代入例』、『新出語彙』、『メモ』の欄を用意しまとめなさい。

ここでは、第1課と第26課の作成例を取り上げています。作成の一例にお役立てください。尚、フォーマットは自由フォーマットです。作成内容で評価をしますが、フォーマット形式で評価されることはありません。

文型抜出 I 作成例 第 I 課

文型	対応する語	新出語彙	Note								
<p>①N1 は N2 です。</p> <p>②N1 は N2 じゃありません。</p> <p>③N1 は N2 ですか。 - はい、N2 です。 - いいえ、 N2 じゃありません。</p> <p>④N1 は N2 の N3 です。</p> <p>⑤N1 は N2 です。 N3 も N2 です。</p> <p>⑥N1 は N2 ですか。</p>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; padding: 5px;"> ①② 【N1】 わたし (あなた) あの(方) ○○さん </td> <td style="width: 50%; padding: 5px;"> ①②③ 【N2】 名前 職業 ○○人 </td> </tr> <tr> <td style="width: 50%; padding: 5px;"> ③ 【N1】 あなた あの(方) ○○さん </td> <td style="width: 50%;"></td> </tr> <tr> <td style="width: 50%; padding: 5px;"> ④⑤ 【N1】 わたし (あなた) あの(方) ○○さん </td> <td style="width: 50%; padding: 5px;"> ④ 【N2】 大学名 会社名 ④ 【N3】 職業 立場 ⑤ 【N2】 職業 ○○人 </td> </tr> <tr> <td style="width: 50%; padding: 5px;"> ⑥ 【N1】 あなた あの方 あの(人) ○○さん ○○ちゃん ○○くん </td> <td style="width: 50%; padding: 5px;"> ⑥ 【N2】 助数詞 ○○歳 </td> </tr> </table>	①② 【N1】 わたし (あなた) あの(方) ○○さん	①②③ 【N2】 名前 職業 ○○人	③ 【N1】 あなた あの(方) ○○さん		④⑤ 【N1】 わたし (あなた) あの(方) ○○さん	④ 【N2】 大学名 会社名 ④ 【N3】 職業 立場 ⑤ 【N2】 職業 ○○人	⑥ 【N1】 あなた あの方 あの(人) ○○さん ○○ちゃん ○○くん	⑥ 【N2】 助数詞 ○○歳	<p>【名詞】</p> <p>わたし、わたしたち</p> <p>あなた</p> <p>あの(方)</p> <p>～さん</p> <p>～ちゃん</p> <p>～くん</p> <p>学生</p> <p>会社員、社員</p> <p>銀行員</p> <p>大学</p> <p>医者</p> <p>教師、先生</p> <p>研究者</p> <p>～人(じん)</p> <p>～歳</p> <p>病院</p> <p>電気</p> <p>[名前]</p> <p>[会社名]</p> <p>[学校名]</p> <p>【疑問詞】</p> <p>だれ、どなた</p> <p>何歳</p> <p>はい、いいえ</p> <p>お名前は？</p>	<p>・名詞述語文</p> <p>・敬称「～さん」</p> <p>※自分には「さん」を付けな いように教える。</p> <p>・否定文は、 「じゃありません」に統一 する。</p> <p>【助詞】</p> <p>「は」主格を表す。</p> <p>「の」所属を表す。</p> <p>「も」同類・追加を表す。</p> <p>・「～ですか」などの疑問文 の時に「？」は使わない。</p> <p>・名前が分かっている人に 「あなた」は使わない。</p> <p>・目上の人、初対面の人に 「だれ」は使わない。 「どなた」を教える。</p> <p>【フレーズ】</p> <p>はじめまして。</p> <p>どうぞよろしくお願いた します。</p>
①② 【N1】 わたし (あなた) あの(方) ○○さん	①②③ 【N2】 名前 職業 ○○人										
③ 【N1】 あなた あの(方) ○○さん											
④⑤ 【N1】 わたし (あなた) あの(方) ○○さん	④ 【N2】 大学名 会社名 ④ 【N3】 職業 立場 ⑤ 【N2】 職業 ○○人										
⑥ 【N1】 あなた あの方 あの(人) ○○さん ○○ちゃん ○○くん	⑥ 【N2】 助数詞 ○○歳										

文型抽出Ⅱ作成例 第26課

文型	対応する語	新出語彙	Note																																				
<p>① 【普通形】んです。</p> <p>い形(普通形)+んです。</p> <p>* な形(普通形だ→な)+んです</p> <p>* 名詞(普通形だ→な)+んです</p> <p>② Nが【普通形】んですか。</p> <p>Nを【普通形】んですか。</p> <p>③ どうして【普通形】んですか。</p> <p>……【普通形】んです。</p> <p>④ 【普通形】んです。</p> <p>⑤ 【普通形】んですが、</p> <p>Vていただけませんか。</p> <p>⑥ 【普通形】んですが、</p> <p>どこで どう } V たらいいです</p>	<p>【動詞】例</p> <table border="1" data-bbox="512 349 940 499"> <thead> <tr> <th></th> <th>肯定</th> <th>否定</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>現在</td> <td>行く 買う</td> <td>行かない 買わない</td> </tr> <tr> <td>過去</td> <td>行った 買った</td> <td>行かなかった 買わなかった</td> </tr> </tbody> </table> <p>【い形容詞】例</p> <table border="1" data-bbox="512 544 940 694"> <thead> <tr> <th></th> <th>肯定</th> <th>否定</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>現在</td> <td>寒い 痛い</td> <td>寒くない 痛くない</td> </tr> <tr> <td>過去</td> <td>寒かった 痛かった</td> <td>寒くなかった 痛くなかった</td> </tr> </tbody> </table> <p>*【な形容詞】例</p> <table border="1" data-bbox="512 739 940 869"> <thead> <tr> <th></th> <th>肯定</th> <th>否定</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>現在</td> <td>きれいな 元気な</td> <td>きれいじゃない 元気じゃない</td> </tr> <tr> <td>過去</td> <td>きれいだった 元気だった</td> <td>きれいじゃなかった 元気じゃなかった</td> </tr> </tbody> </table> <p>*【名詞】例</p> <table border="1" data-bbox="512 913 940 1064"> <thead> <tr> <th></th> <th>肯定</th> <th>否定</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>現在</td> <td>病気な 誕生日な</td> <td>病気じゃない 誕生日じゃない</td> </tr> <tr> <td>過去</td> <td>病気だった 誕生日だった</td> <td>じゃなかった 元気じゃなかった</td> </tr> </tbody> </table>		肯定	否定	現在	行く 買う	行かない 買わない	過去	行った 買った	行かなかった 買わなかった		肯定	否定	現在	寒い 痛い	寒くない 痛くない	過去	寒かった 痛かった	寒くなかった 痛くなかった		肯定	否定	現在	きれいな 元気な	きれいじゃない 元気じゃない	過去	きれいだった 元気だった	きれいじゃなかった 元気じゃなかった		肯定	否定	現在	病気な 誕生日な	病気じゃない 誕生日じゃない	過去	病気だった 誕生日だった	じゃなかった 元気じゃなかった	<p>【名詞】</p> <p>運動会 ガス ～会社[がいしゃ] ～弁 ごみ 燃えるごみ 国会議事堂 場所 財布 缶 瓶 フリーマーケット ボランティア 盆踊り 平日 横 置き場</p> <p>【動詞】</p> <p>★Ⅰグループ (荷物が)片付きます (ごみを)出します (時間に)間に合います さがします 拾います やります</p> <p>★Ⅱグループ (時間に)遅れます 診ます</p> <p>★Ⅲグループ 連絡します</p> <p>【形容詞】</p> <p>気分がいい 気分が悪い</p> <p>【その他】</p> <p>直接 今度 ずいぶん いつでも だれでも どこでも なんでも あんな～ こんな～ そんな～</p>	<p>話し手の心の動きが見えるとき 例)「頭が痛い…」 ＝独り言 「頭が痛いんです…」 ＝話しかけている</p> <p>書き言葉「～のです。」 話し言葉「～んです。」</p> <p>・理由づけ…断りの機能 *説明を加えたい</p> <p>・関心・疑問・驚き・感心した時 *どうして～んですか。</p> <p>事実や情報を言うときには使えない。 *時刻・名前・日付 etc</p> <p>⑤丁寧な依頼 A: 前件…依頼のモダリティ 後件…アドバイスを求めている 「Vてください。」 ↓丁寧 「Vていただけませんか。」 *日本人は後件の省略が多い</p> <p>B: 前件…状況説明 後件…勧誘 例)みんなでゲームをやるんですが、一緒にやりませんか。</p> <p>⑥アドバイスを求める 「～んですが…」 →返事を待っている「が」 ※日本語では最後まで言わなくても相手が察する文化</p>
	肯定	否定																																					
現在	行く 買う	行かない 買わない																																					
過去	行った 買った	行かなかった 買わなかった																																					
	肯定	否定																																					
現在	寒い 痛い	寒くない 痛くない																																					
過去	寒かった 痛かった	寒くなかった 痛くなかった																																					
	肯定	否定																																					
現在	きれいな 元気な	きれいじゃない 元気じゃない																																					
過去	きれいだった 元気だった	きれいじゃなかった 元気じゃなかった																																					
	肯定	否定																																					
現在	病気な 誕生日な	病気じゃない 誕生日じゃない																																					
過去	病気だった 誕生日だった	じゃなかった 元気じゃなかった																																					

		<p>S:きれいです。 T:そうです。「マリーさんの部屋はきれいです。」どうぞ。 S:マリーさんの部屋はきれいです。 T:田中さんです。田中さんの部屋です。どうですか。 S:きれいじゃありません。 T:そうです。「田中さんの部屋はきれいじゃありません。」どうぞ。 S:田中さんの部屋はきれいじゃありません。 ほかの“な形容詞”も同様に絵カードを提示して肯定文・否定文を作る。</p>	<p>コーラス</p> <p>コーラス それぞれに絵カードを用意する</p>
<p>導入 (15分)</p>	<p>い形容詞</p>	<p>T:【い形容詞】を勉強します。 これは雑誌です。きのう買いました。きのうこの雑誌を買いました。 新しいです。 「この雑誌は新しいです。」 これも雑誌です。去年買いました。去年この雑誌を買いました。古い です。 「この雑誌は古いです。」 この雑誌は新しいです。この雑誌は古いです。 新しいです。古いです。 *Nは【い形】です。文型提示 「この雑誌は新しいです。」どうぞ。 S:この雑誌は新しいです。 T:「この雑誌は古いです。」どうぞ。 S:この雑誌は古いです T:(新しい雑誌を提示して)この雑誌は新しいですか。 S:はい、新しいです。 T:いいです。「この雑誌は新しいですか。はい、新しいです。」どうぞ。 S:この雑誌は新しいですか。はい、新しいです。 T:(古い雑誌を提示して)じゃ、この雑誌は新しいですか。 S:いいえ、古いじゃありません。(などの答えが予想される) T:違います。(板書しながら)「古いです」「い」を取って“くない”にしま す。 いいえ、ふるくないです。 「古いじゃありません」じゃありません、「古くないです。」です。 練習しましょう。 「いいえ、古くないです。」どうぞ。 S:いいえ、古くないです。</p> <p>古い雑誌と新しい雑誌をその場で選んで出し、答えさせる。 T:○○さん、この雑誌は新しいですか。 S1:はい、新しいです。 T:△△さん、この雑誌は新しいですか。 S2:いいえ、新しくないです。 など何人かに当てて答えさせる。</p> <p>い形容詞の文字カードを使い、フラッシュカードとして否定文を作る練 習をする。 T:(文字カードを見せながら)青いです。どうぞ。 T/S:(最初は一緒に)青くないです。 全ての変換が終わったら、カードをシャッフルし、今度は個別に当てて いく。 T:(文字カード「赤いです」を見せながら)○○さん、どうぞ。 S1:あかくないです。 T:いいですね。(カードをめくり)じゃ、△△さん、どうぞ。 S2:あたら…? など答えられない生徒がいたら、WBを指し示し、自力で答えさせ、 その後、もう一度繰り返す。 (つづく)</p>	<p>レアリア(新しい雑誌) WBに文字カードを貼る 「この雑誌は新しいです。」 レアリア(古い雑誌)</p> <p>WBに文字カードを貼る 2冊を提示しながら</p> <p>板書 コーラス×2</p> <p>コーラス×2</p> <p>「はい、【い形】です。」の文字カード貼る コーラス×2</p> <p>板書「古はです。」 くくない</p> <p>「いいえ、【い形】くくないです。」 強調</p> <p>コーラス×2</p> <p>レアリア</p> <p>文字カード(い形容詞)*フラッシュカード</p> <p>絵カード コーラス</p>
<p>練習 (20分)</p>			